

感染性胃腸炎の集団発生について

平成 22 年 12 月 6 日

奈良市保健所保健予防課

0742-23-6173

平成 22 年 12 月 3 日（金）市内の小中学校から、嘔吐・下痢症状を訴える児童が多数いるとの通報が奈良市保健所にありました。概要は以下のとおりです。

1．経過

- 11月 29日（月） 1年の児童 1名、嘔吐を発症。
 12月 1日（水） 2年の児童 5名嘔吐、下痢を発症。
 12月 2日（木） 2年の児童 1名が嘔吐、1年の児童 1名が嘔吐、下痢を発症。
 12月 3日（金） 1年の1つのクラスで児童 20名が嘔吐、下痢発症により同クラス学級閉鎖。
 1年の別クラスの児童 1名嘔吐、2年の児童 4名嘔吐、腹痛、発熱を発症。
 教職員 2名嘔吐、下痢を発症。
 小学校より奈良市保健所に通報があり疫学調査を実施。小学校に対して手洗いの励行、消毒の徹底、衛生管理の更なる徹底を指導。
 12月 4日（土） 全学年にわたり新たに 26名が発症。児童 1名の行政検便を実施。
 12月 6日（月） 新たに 12名が発症。児童 1名の便検査によりノロウイルス陽性が判明。

2．施設名

近畿大学附属小学校 校長 木原 晴夫（きはら はるお）
 所在地 奈良市あやめ池北 1 - 3 3 - 3
 児童数 6 5 5 名 （男 3 6 4 名・女 2 9 1 名） / 職員数 5 2 名

3．主な症状

嘔吐・下痢・発熱

4．発症者数（12月6日現在）73名

学年	性別	11 / 29	11 / 30	12 / 1	12 / 2	12 / 3	12 / 4	12 / 6	計
1年	男	1	0	0	0	13	8	1	23
	女	0	0	0	1	8	2	2	13
2年	男	0	0	5	1	2	1	1	10
	女	0	0	0	0	2	1	0	3
3年	男	0	0	0	0	0	3	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
4年	男	0	0	0	0	0	5	1	6
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
5年	男	0	0	0	0	0	3	3	6
	女	0	0	0	0	0	1	3	4
6年	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	1	0	1
職員	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	1	0	0	1
合計		1	0	5	2	27	26	12	73

5．その他

入院者なし。重症者なし。有症状者は順次快方に向かっている。

感染性胃腸炎（ノロウイルス等）について

感染性胃腸炎の患者発生は、例年、11 月から 12 月にかけて増加し、12 月の中旬頃にピークとなる傾向となっておりますが、本年は、感染性胃腸炎の定点当たりの届出数が、第 42 週から第 44 週にかけて 3 週連続して増加し、この 10 年間の同時期の届出数の中で 2 番目の多さとなっております。

奈良県では、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高齢者福祉施設等で、奈良市では、小学校や地域において集団発生の報告があります。

つきましては、ノロウイルス等による感染性胃腸炎が急増するシーズンを迎えることに鑑み、市民の皆様に対して、手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策の啓発をいただきますようお願いいたします。

1 ノロウイルスとは

ヒトの小腸粘膜で増殖して、嘔吐や下痢などの症状をひきおこすウイルスです。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染（食中毒）や飛まつ感染（ウイルスが空気中に舞い上がり、風邪と同じように感染する）です。汚染された食品（貝類など）を十分に加熱しないで食べた場合や、調理する人が感染していて食品を介して感染する場合、患者の便や嘔吐物などから感染する場合などがあります。

ノロウイルスに感染すると、潜伏期間（感染から症状がでるまでの期間）は、24～48 時間で、主な症状は嘔気、嘔吐、下痢、腹痛で、熱が出ることもあります。通常はこのような症状は、2～3 日でよくなりますが、高齢者や乳幼児などは脱水などの注意が必要です。

2 感染拡大防止のために

健康チェックをして、症状があるときは医療機関に受診し、登園・登校を控えましょう。少しのウイルスで感染しやすいので、手洗いを徹底し、嘔吐物や排泄物の処理や清掃については、ゴム手袋、マスク、エプロンを身につけて実施してください。作業後は必ず石鹸で手洗いをしてください。

おむつなどの交換については、汚染したおむつ・下着などは、事前に準備したビニール袋に直ちに入れて密封してください。

トイレの清掃は、可能な限り十分な水洗を行い、便器やドアノブなどは、次亜塩素酸ナトリウム溶液（ハイターなど）をしみこませたペーパータオルなどで浸すように拭き、その後水拭きしてください。

ノロウイルス等で汚染された下着や衣類は、次亜塩素酸ナトリウム溶液（ハイターなど）0.1%に 30 分つけて消毒するか又は、85℃以上 1 分間以上の加熱を行いましょう。